


一般質問通告書

次の通り質問したいので通告します。

平成 26年 8月 19日

山北町議会議長 池谷 莊次郎 殿

受付番号	第 6 号	質問議員	4番	藤原 浩	
件名	1. 「観光のまち山北再建に向けた取り組み」について 2. 行政運営における情報通信環境の整備について				
要 旨					
<p>1. 町長は7月臨時議会における所信表明の中で、「観光のまち山北再建に向けた取り組み」において、「洒水の滝遊歩道の整備」、「ハイツ&ヴィラなかがわ跡地の活用」について述べている。特に「ハイツ&ヴィラなかがわ跡地の活用」については、購入時点に具体的な構想もなく実行した点を重くとらえ、「観光のまち山北再建に向けた取り組み」について伺う。</p> <p>山北町では、「観光のまち」という言葉に代弁されるよう、観光の振興について様々な取り組みをしてきた。しかし社会情勢が大きく変化してきている昨今では、行政の観光事業への取り組み方を見直す必要があるのではないかと考える。今までは、単に豊富な観光資源を活用し、観光振興が必要だという想いの上に、取り立ててその効果については実証的な議論がなされてこなかったと認識している。今からは観光振興が住民の福祉向上にいかに関与するかを具体的に示したうえで、取り組まなければならないと考えるがどうか。</p> <p>2. 山北町では、現在HPを運営し情報発信することで、住民福祉の向上に努めようとしている。しかし第5次総合計画で述べられているとおり、社会全体の情報環境の進歩は目まぐるしいものがあり、当町の情報化社会への対応は、十分でないと考えられる。広大な面積を有しながら、それに見合う財政を持たない山北町にとって、SNSに代表される情報通信サービスは、利用如何によって非常に有効なツールになりうる。そこで情報化社会へ対応する環境整備の一步として、まず庁舎内の通信環境を整備する必要があると考える。町では、庁舎内がLANで結ばれネットワークが構築されてはいるが、職員パソコン全てが外部とつながってはいない。現在業務に使用しているパソコン全てにインターネット環境を整備すると共に、情報の受け渡し等、取り扱いに関する考えを明文化し、情報管理、情報発信の考え方を含め情報化社会への対応に、早急に取り組むべきと思うがどうか。</p>					